

令和4年度
全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
教育課程部会
実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所／後援 日本私立中学高等学校連合会

◆研究のねらい◆

**主体的な探究学習の実現に向けて
～ICTの効果的な活用を考える～**

令和4年度実施の高等学校新学習指導要領では「探究」が重要なキーワードとなり、「総合的な探究の時間」がカリキュラムの中で重要な位置を占める。そして、「情報Ⅰ」が新設され、令和7年度の大学入学共通テストから入試科目として実施されることになった。

「探究」は他教科との連携、ICTの活用が欠かせない。コロナ禍でオンライン授業が進み、対面授業と組み合わせたハイブリッド教育などICTの効果的な活用による新たな教育の展開が期待されている。同時に学校間等のICT環境や教員スキルのばらつきの解消が求められている。また、教科「情報」については情報科担当教員不足による学校現場の体制等の課題が山積している。

当部会ではICTを効果的に活用する「探究」と教科「情報」をテーマに講演、学校視察、研究協議等を通して学び、それぞれの学校のこれからの教育課程のあり方について考えていきたい。

会 期 令和4年6月17日(金)・18日(土)

会 場 (初 日) 常翔学園中学校・高等学校

(大阪府大阪市旭区大宮 5-16-1)

(大阪メトロ谷町線千林大宮駅徒歩約15分／今里筋線・谷町線太子橋今市駅徒歩約10分)

(2日目) 大阪CORONA HOTEL【新大阪会場】 (大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-21)

(JR新大阪駅東改札口あるいは新幹線コンコース南口から徒歩約3分)



常翔学園中学校・高等学校 正門からの校舎外観

募集人員 120名

参加対象 理事長・校長・教頭・教務主任及び教育課程編成等担当教員

※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 19,000円 (2日目の昼食費を含む)

日 程 ※プログラムは変更になる場合があります。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	30	30		30	30	55	40	15 30			
6月17日 (金)					受 付	開 会 式	学 校 紹 介	授 業 視 察	施 設 見 学	実 践 発 表	全 体 会 (質 疑 応 答)
6月18日 (土)		講 演	基 調 講 演	昼 食	分 散 会			分 散 会 報 告	閉 会 式		

研修内容

◆基調講演◆

演 題 学校のデジタル化は何のため？ ICT 導入における“目的設定”の重要性

講 師 為田 裕行 フューチャーインスティテュート株式会社代表取締役／教育 ICT リサーチ主宰



【プロフィール】

1975 年生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業後、大手学習塾企業へ就職。一斉指導、個別指導、合宿教育などの現場で鍛えられ、1999 年フューチャーインスティテュートの設立に参画。「学校が Future Ready になることをお手伝いする」を行動指針に、現場への教育 ICT 導入の可能性を模索。幼稚園・小学校・中学校・高校・大学の教壇に立つと共に、学校向けの教育コンサルティング、教材、サービス、教育書や教育テレビ番組などの教育監修を行っている。著書『学校のデジタル化は何のため？—教育 ICT の利活用の目的 9 類型』（2022 年 さくら社）、『一人 1 台のルール』（2021 年 さくら社）、共著『学校アップデート情報化に対応した整備のための手引き』（2020 年 さくら社）。

◆講 演◆

演 題 新学習指導要領及び大学入試はどう変わるのか

講 師 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

◆学校視察◆

常翔学園中学校・高等学校

全体会 視察校代表挨拶 田代 浩和 常翔学園中学校・高等学校校長

学校紹介 佐々木 恵 常翔学園中学校・高等学校中学教頭

実践発表 中野 裕文 常翔学園中学校・高等学校国語科教諭

授業視察・施設見学・全体会（質疑応答）

◆分 散 会◆

テーマ 主体的な探究学習の実現に向けて～ICT の効果的な活用を考える～

★15 名程度のグループに分かれて研究協議・情報交換を行います。

視察校紹介

常翔学園中学校・高等学校

〈理事長 西村 泰志／校長 田代 浩和〉

建学の精神：世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。
教育の理念：「自主・自律」の精神と幅広い「職業観」を養い、目的意識を持った進学の実現により、将来、実社会で活躍できる人材を育成する。

教 育 内 容：大阪市内に位置し、自然環境豊かな淀川に隣接、12 階建ての北館や 5 階建ての体育館など、全館 Wi-Fi 完備の恵まれた環境の中で生徒たちは学んでいます。1922 年に関西工芸専門学校として創立され、今年はちょうど 100 周年に当たる記念すべき年になります。法人内には、大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学の 3 つの大学が併設され、文系理系問わず、多彩な分野の学部で内部進学することが可能です。

2000 年から学校改革に取り組み、教育の理念を実現するためのキャリア教育に力を入れ、「JOSHO CAREER-UP CHALLENGE」という高校 3 年間のキャリア教育プログラムを考案、実践してきました。実在する企業へのインターンシップを教室で体験する企業探究学習、企業探究学習で学んだ知識や手法をさらに発展させ、行政が抱える問題を解決する「Osaka City Project」やディベートの基礎に挑む「Young Leaders Plan」、AI・データサイエンスについて学び、2 年次には 8 つのゼミに分かれて好きなテーマで科学探究を行う「ガリレオプラン探究」、大学での学びについて理解を深め、自分の生き方を考える「夢発見ゼミ」等、実社会で求められる課題解決力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などを養うためのさまざまなプログラムを用意しています。さらに、今年から中学校も理数研究やプログラミングを取り入れた STEAM 教育を始めています。

2017 年には iPad を一人一台利用した学習環境を実現しました。それ以来「ICT 公開授業」を毎年開催し、全国から 200 名を超える先生方にお越し頂いています。そこでは iPad を活用した授業の見学や研究協議、講演会などを行い、これからの教育を検討する場にしています。2020 年には教育イノベーションセンターを立ち上げ、イノベーション教育のとりまとめや主体的・対話的で深い学びの実践を広めています。

◆プログラム◆

【初 日】6月17日（金）

〈会場〉常翔学園中学校・高等学校

12:30～13:00	◇受 付◇
13:00～13:30	◇開会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 視察校代表挨拶 田代 浩和 常翔学園中学校・高等学校校長 4. 役員・専門委員紹介 5. 研修会運営方針説明 森 涼 教育課程専門委員長 6. 日程説明 7. 閉式
13:30～16:00	◇学校視察◇ 司会 池田 弘 常翔学園中学校・高等学校教育イノベーションセンター長 (13:30～13:50) ○学校紹介 佐々木 恵 常翔学園中学校・高等学校中学教頭 (13:55～14:40) ○授業視察 中学1年生から高校3年生までの第5校時の授業を視察します。 (14:40～15:15) ○施設見学 (15:15～16:00) ○実践発表 中野 裕文 常翔学園中学校・高等学校国語科教諭
16:00～17:00	◇全体会◇ ○視察校の先生への質疑応答、参加者同士で情報交換を行います。
17:00	◇初日解散◇

【2日目】6月18日（土）

〈会場〉大阪CORONA HOTEL【新大阪会場】

09:30～10:30	◇講 演◇ 司会 教育課程専門委員 演 題 「新学習指導要領及び大学入試はどう変わるのか」 講 師 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
10:30～12:00	◇基調講演◇ 司会 教育課程専門委員 講師紹介・謝辞 森 涼 教育課程専門委員長 演 題 「学校のデジタル化は何のため？ ICT 導入における“目的設定”の重要性」 講 師 為田 裕行 フューチャーインスティテュート株式会社代表取締役／教育ICTリサーチ主宰
12:00～13:00	◇昼 食◇
13:00～15:00	◇分散会◇ 司会・進行 教育課程専門委員 テーマ 「主体的な探究学習の実現に向けて～ICTの効果的な活用を考える～」 教育課程専門委員が司会を務め、15名程度のグループに分かれて、参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。
15:00～15:30	◇分散会報告◇
15:30～16:00	◇閉会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括 森 涼 教育課程専門委員長 3. 閉会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
16:00	◇解 散◇

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

◆講師・指導員（順不同）◆

為田裕行	フューチャーインスティテュート株式会社代表取締役／教育 ICT リサーチ主宰
田代浩和	常翔学園中学校・高等学校校長
佐々木恵	常翔学園中学校・高等学校中学教頭
中野裕文	常翔学園中学校・高等学校国語科教諭
池田弘	常翔学園中学校・高等学校教育イノベーションセンター長
吉田晋	富士見丘中学高等学校理事長・校長
平方邦行	一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

◆専門委員・指導員（順不同）◆

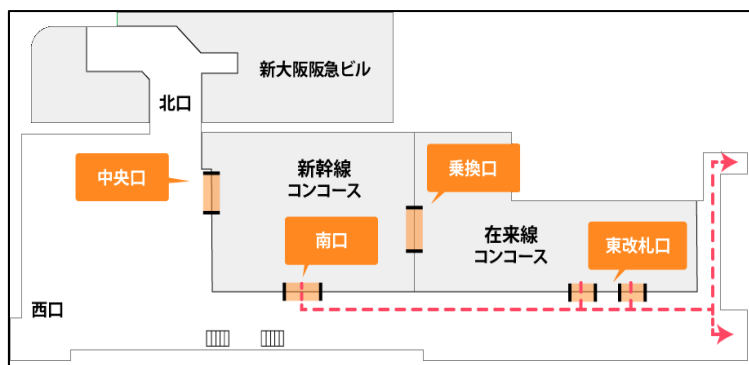
森涼	学校法人石川高等学校・石川義塾中学校理事長・校長
松谷茂	文化学園大学杉並中学高等学校校長
鈴木弘	香蘭女学校中等科高等科校長
北村聡	京都外大西高等学校前校長
須藤勉	東京私学教育研究所参与
川本芳久	一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

◆会場のご案内◆

【初日】常翔学園中学校・高等学校



【2日目】大阪CORONA HOTEL【新大阪会場】



●大阪メトロ谷町線千林大宮駅徒歩 15 分／
今里筋線・谷町線太子橋今市駅徒歩約 10 分

●JR 新大阪駅東改札口（あるいは新幹線コンコース南口）
から徒歩約 3 分

○会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。（車での来場はご遠慮下さい。）

◆参加者へのお願い◆

○当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等を HP・ブログや各種 SNS 等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させて頂く場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので、予めご了承下さい。

○視察校での写真撮影について、生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止とします。撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、参加者個人の SNS やインターネットのサイトへのアップロードは禁止とします。また撮影写真の使用後は速やかに破棄頂きますようお願いいたします。また、動画（ビデオ撮影等）についてはすべて禁止とします。

令和 3 年度研修会の様子



◆参加申込み方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先に FAX または郵送でお送り下さい。お電話での申込は受付けません。

申込み先 一般財団法人日本私学教育研究所 一般研修会担当宛
〒102-00073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
TEL : 03-3222-1621 FAX : 03-3222-1683 HP : <https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせ致します。

申込締切日 6月3日(金)必着

3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送り致します。
参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。

参加費振込期限 6月9日（木）

◆注意事項◆

＜参加申込について＞

申込後、2週間以内に「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

＜変更・キャンセル・欠席について＞

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。 **キャンセル期限 6月9日（木）**

キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信致します。

変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送致します。上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

6月9日(木)迄のご連絡	6月10日(金)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金致します。	参加費の返金はできません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

◆新型コロナウイルス感染症について◆

- (お願い) ○会期中はマスク等の着用、咳エチケット、手洗い及び手指の消毒、社会的距離の確保にご協力下さい。
○当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは出席をお断りする場合があります。
その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。
○参加費の返金・キャンセル料の取扱については、各研修会実施案内をご確認下さい。
○受付時に「体調管理チェックシート」をご提出いただく場合があります。
- (対 策) ○受付での検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとるなど密閉、密集、密接の回避に努めます。
○必要に応じて飛沫防止パーテーション等を設置します。
○講師並びに運営関係者・スタッフはマスク等を着用するなど感染防止に努めます。
○座席は指定席とします。
- (対 応) ○新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関に協力し、必要な情報提供を行います。
- 新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は当研究所ホームページをご覧ください。

◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用致します。

◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入致しませんのでご承知置き下さい。

令和4年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
教育課程部会 参加申込書

令和 4 年 ____ 月 ____ 日

参 加 者 氏 名	(ふりがな) _____	職 名	
		担当教科	
学校(法人)名			
学校(法人)住所	〒 _____ TEL () FAX ()		
※参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。			
参 加 者 連 絡 先	携帯電話番号 () ※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。		
メールアドレス	※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。		

○食物アレルギーの有無につきまして、該当する方に○を付けて下さい。食物アレルギーをお持ちの場合は、
参加確認証送付時に「食物アレルギー事前お伺いシート」をお送りしますので、ご返報下さい。

あり	なし
----	----

アンケート

◎講師・視察校への質問事項等、分散会での希望テーマをご記入下さい。時間の都合上、質問への回答、希望
テーマの協議ができない場合もございます。ご了承下さい。

講師への質問

視察校への質問

分散会の希望テーマ

通信欄

※FAX または郵送でお申込下さい。

受付№

※複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお申込下さい。